ショウコウミズキに就て

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 初島, 住彦, Hatsushima, Sumihiko メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055944

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

○ 工藤茂美 **秋田県山本地方植物誌** 秋田植生研究会，平成元年9月20日発行。B5判，74頁＋和名索引8頁。

白神山地によって青森県と境する，秋田県最北の地域のシダ植物以上の高等植物の目録で，153科，613属，1125種をあげている　（里見信生）

○ **ショウコウミズキに就て**（初島住彦）Sumihiko HATUSIMA: On *Corylopsis coreana* UYEKI

ショウコウミズキは朝鮮の全羅南道順天郡の曹溪山(タイプ産地)，智異山で当時水原高等農林学校の教授であった植木秀幹博士が発見したもので，その後，白雲山，順天の山岳，高興の八影山，同福の母石山などでも発見されている。本種の学名 *Corylopsis coreana* UYEKI は1924年水原学報 No. 41 に発表され，その後1935年に朝鮮博物学会雑誌20号に英文で発表されている。水原学報というのは，私は未見であるが，元水原高農におられ植木博士と共に仕事をしておられた佐方敏男氏によると，水原高農の校友会報みたいな雑誌で配布範囲も大部分は校内に限られ，一般に広く配布されるものでないとのことである。従って植物命名規約29条により，たとえラテン語で記載されていても無効である。このことは MERRILL and WALKER の東亜植物文献目録増補1（1960）378頁でも水原学報のことを「日本の学者によっても有効と考えられない ephemerical journal」と書いていることでもわかる。1935年の発表は朝鮮博物学会雑誌20号（1935年4月30日発行）に *Corylopsis coreana* UYEKI in Suigen Gakuho No. 41 の見出しで英文で次のように記載されている。英文を訳してみると次のようになる。

本種はコウヤミズキに似るが，葉は幅が広く，下面は全く無毛，一般的に側脈の数が少なく，花は密生して花数が多く，花序軸は長く，花弁の舷部が短く，雄芯及び花柱と同長又は少し長く，密腺は鋸歯縁。キリシマミズキにも近いが，葉の側脈は少ない点で異なる。

高さ2 mの低木，小枝は帯黄褐色又は暗褐色，二年枝は褐色，冬芽はぼうすい形で長さ5～8 mm，無毛，葉は卵円形，急鋭頭，心脚，長さ5～8（9）cm，幅4.5～8 cm，刺状鋸歯縁，上面は帯緑色で無毛，下面は灰白色で無毛。総状花序は開花時長さ3～4 cm，満開時には7～8 cm，花は8～12個，花軸は無毛，淡黄色，花軸の下部の二枚の苞は淡黄緑色，長卵形，鈍頭，細毛縁，内面は長柔毛を布く。花は径7～8 mm，萼は五裂し無毛，萼片は鈍頭，淡黄緑色，花弁は倒卵形で淡黄緑色を呈し無毛，下部は爪状に狭くなり，鈍頭又はやゝ凹頭，長さ5 mm，幅3 mm，雄芯は無毛，花絲は長さ4 mm，淡緑色，蜜腺は鋸歯縁，花柱は無毛で淡緑色。完熟の果実は未見。花は3月。

生育地　朝鮮：全羅南道，曹溪山；智異山

日本名　ショウコウミズキ（松広ミズキ）

以上が原記載文であるが，おしいことに発表が1935年4月30日となっているので，植物命名規約36条の「1935年1月1日以降はバクテリアを除きラテン語で記載されていないものは無効」という規定により本学名は無効となる。

ショウコウミズキはコウヤミズキに似ているが，葉は一般に大きく，下面は粉白色で著しく白く，小枝も一般に太く，花絲は長さ4 mmで半分の長さしかなく，筆者は別種と考えたほうがよいと考えている。山陽方面に多少似た型のものがあるが，これはコウヤミズキの一型と考えたほうがよい。折角発表されたショウコウミズキの学名を有効にするため次のラテン語の記載文を付記したい。

Corylopsis coreana UYEKI in Suigen Gakuho (1924) No. 41; in Journ. Chosen Nat. Hist. Soc. **20** (Apr. 30, 1935) l, descr. angl., nom illeg.

Corylopsis gotoana MAK. var. *coreana* (UYEKI) YAMAZAKI in Journ. Jap. Bot. **63** (1988) 29, nom. illeg.

Ad descriptionem addenda:

Haec species *Corylopsis gotoanae* affinis, a qua foliis majoribus subtus glaucis, petalis parvioribus (5mm vs. 9-11mm), filamentis brevioribus (4-5mm vs. 10mm) differt. Capusla subglobosa in sicco 6-7mm diam. semi-infra, glabra. Semina ignota.

Hab. Korea: Mt. Sokei, Prov. Zennan, UYEKI, s. n. (holotype in SUN); Mt. Chii-san (T. ISOMINE, s. n., topotype in **KAG**)

本種は中國東部産で花弁，花絲の長さ5～6 mmの *Corylopsis glandulifera* HEMSL. var. *hypoglauca* (CHENG) CHANG (*C. hypoglauca* CHENG) に近いようで今後の比較研究が望まれる。

（〒892 鹿児島市吉野町2635-3.　Yoshinomachi 2635-3, Kagoshima 892）